

長さを調整したい場合

製品サイズ

ポールを組み替えることで好きな長さでお使いいただけます。
3種類の長さ（S、M、L）のポールをご使用いただけます。
また、ジョイントを使用することで2サイズのポールを連結して
お使いいただけます。

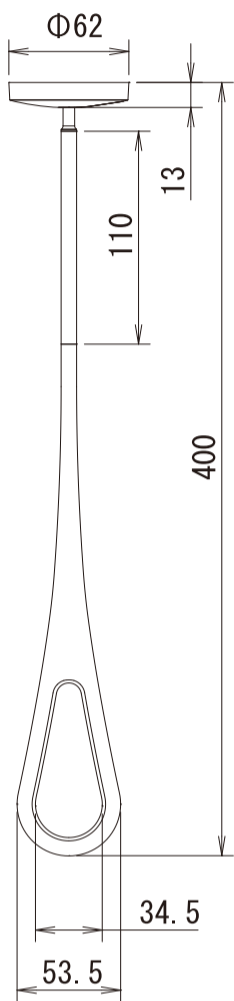
※ご使用にならないポールは大切に保管してください。

●ポールS（長さ 110mm）を
使用した場合の全長は
400mm になります。

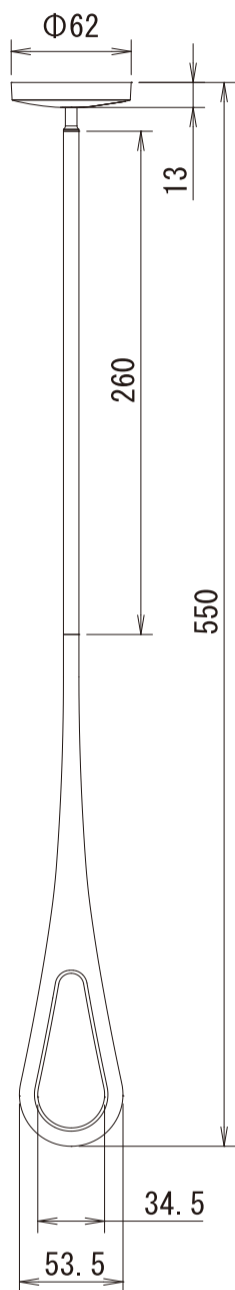
●ポールM（長さ 260mm）を
使用した場合の全長は
550mm になります。

●ポールL（長さ 410mm）を
使用した場合の全長は
700mm になります。

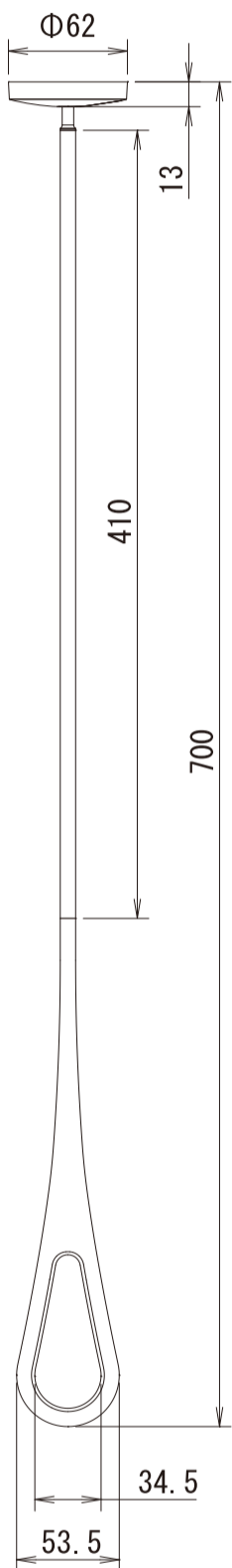
Sサイズ



Mサイズ



Lサイズ

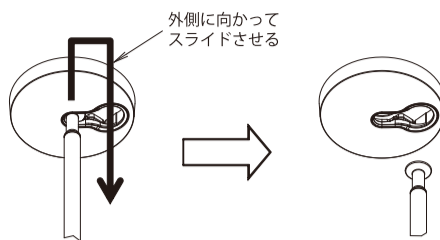


〈ポールを2サイズ連結する場合〉

使用するポール	ポール長さ	全長
Sサイズ + Mサイズ	370mm	660mm
Sサイズ + Lサイズ	520mm	810mm
Mサイズ + Lサイズ	670mm	960mm

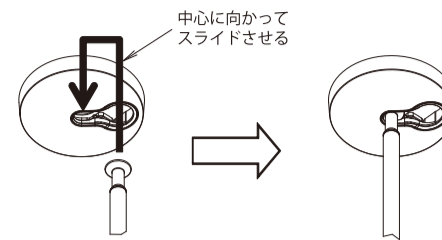
ポールを取り外す場合

ポールヘッドをベースに当たるように
押し上げ、ベースの外側に向かって
スライドさせポールヘッドを引き抜きます。



ポールを取り付ける場合

ベースのポールヘッド差込口に
ポールヘッドを押しあて、
ベース中心に向かってスライドさせて
取り付けます。

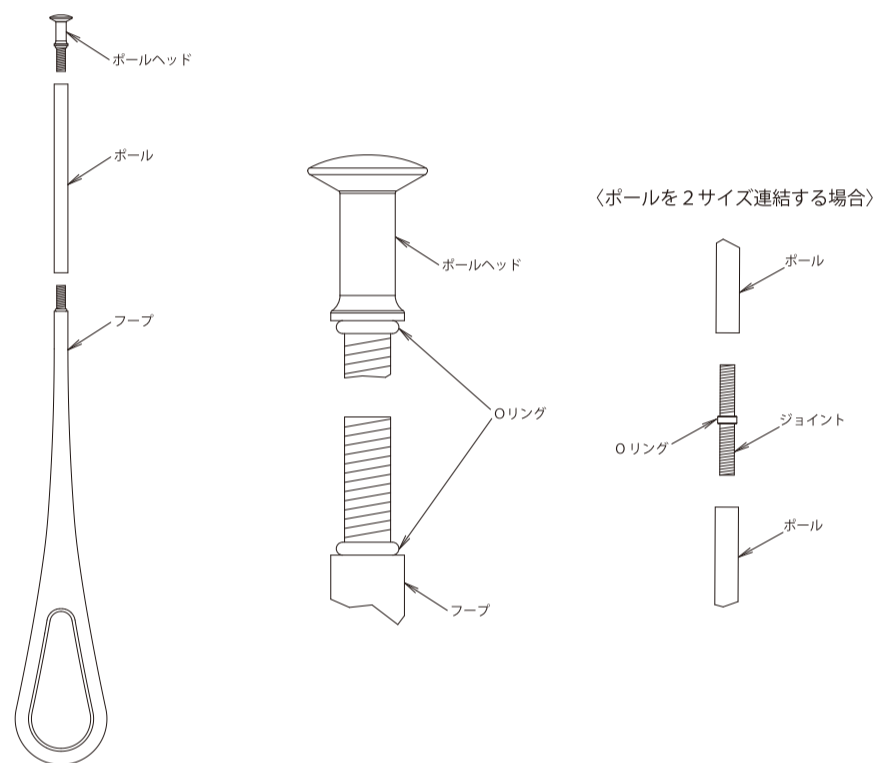


ポールの長さを変更する場合

- ①ポールの接続部分のねじ（ポールヘッド、フープ、ジョイント）を緩めて取り外します。
- ②3種類の長さ（S、M、L）のポールをお選びください。また、Lサイズでは長さが不足する場合は
ジョイントを使って2サイズのポールを連結してお使いいただけます。
- ③ポールにポールヘッドとフープを止まるまでねじ込んでください。
※ジョイントのご使用は1個までとしてください。

取り付け：時計回り
取り外し：反時計回り

ポールヘッド、フープとジョイントのねじ部にOリングを取り付けてあります。
ねじからOリングを取り外さないようにご注意ください。
※Oリングがないとポールヘッド、フープやジョイントが緩み落下する場合があります。



物干竿使用のご注意

- AirHoop に当社ランドリーポールをお使いのお客様
AirHoop に当社ランドリーポールをお使いのお客様はランドリーポールの落下防止のため、
AirHoopの端からランドリーポールのキャップ先端までを片側で200mm以上残すことをお勧めします。
※ランドリーポール以外の物干竿をご使用の場合は、お使いになる物干竿の取扱説明書を
ご確認の上、お使いください。

ランドリーポール 品番	ポール長さ (mm)	※AirHoopの取り付け長さは施工現場に応じて調整して取り付けてください。
KS-NRP003-17P	1,000~1,700	
KS-NRP003-30P	1,700~3,000	
KS-NRP003-40P	2,200~4,000	

洗濯物の目安

一般的な衣料を実際に計測した目安です。
生地や大きさなどにより、変動しますので参考にしてください。

	単品		4人家族	
	洗濯前	脱水後	洗濯前	脱水後
靴下（左右）	60g	100g	240g	400g
下着類	170g	300g	680g	1,200g
ジーンズ（大人用）	650g	1,050g	650g	1,050g
綿ズボン（大人用）	500g	760g	500g	760g
バスタオル	200g	400g	800g	1,600g
長袖シャツ（大人用）	360g	600g	720g	1,200g
子供スパッツ	150g	200g	150g	200g
子供半ズボン	200g	400g	200g	400g
フェイスタオル	100g	150g	400g	600g
合計			4,340g	7,410g

一般的な寝具を実際に実測した目安です。
材質や大きさなどにより、変動しますので
参考にしてください。
※布団など重量物を干す場合は、掛け降ろ
しにご確認ください。

敷布団シングル	5kg
敷布団ダブル	7kg
掛布団シングル	2kg
掛布団ダブル	3kg

本製品の保証及び免責事項内容について

1. 保証期間
お買い上げ日より1年間です。
2. 保証内容
保証期間中に正常な使用状態において、万一製造上の問題により故障が生じた場合には、
当社にて無償で交換いたします。

次のような場合は保証期間中でも有償修理となります。

- (1) お客様が適切な使用、維持管理を行なわなかったことに起因する故障・損傷
- (2) お客様が定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による分解などに
起因する故障・損傷
- (3) 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、
塗装の色あせ等の経年変化又は使用に伴う摩擦等により生じる外観の現象
- (4) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する故障・損傷
- (5) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する故障・損傷
- (6) 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異又は戦争・暴動等
破壊行為による故障・損傷